

Step 1 ここが大切 | 基本のことは

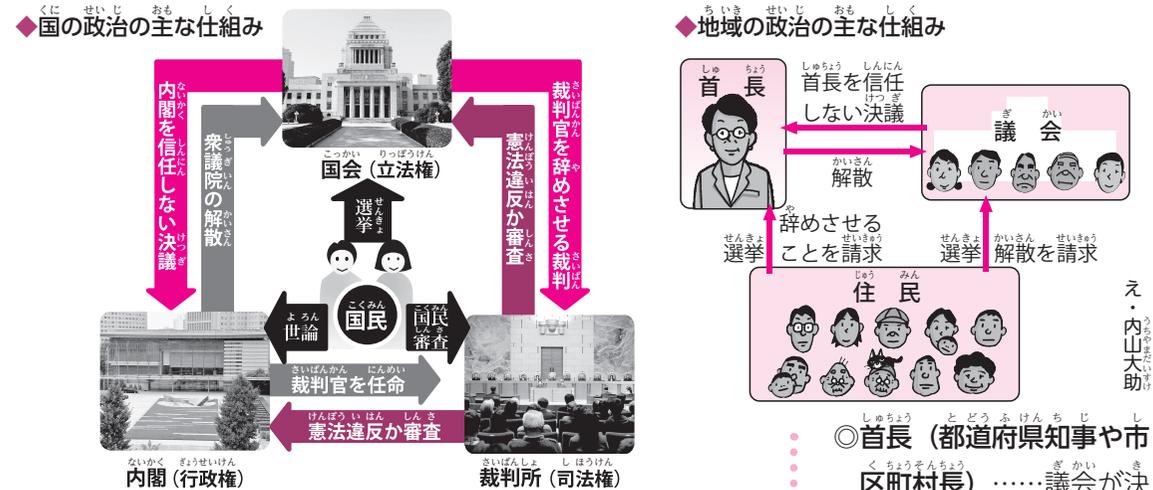
● 国の政治は「三権分立」 地方自治を担う首長と議会
 政治とは大まかに言えば、国やそれぞれの地域を治め、国民・住民にとって望ましい社会にしていく仕事です。日本では「国の政治」と「地域の政治（地方自治）」がそれぞれ、日本国憲法（50条）や法律などにに基づき、主役、である国民・住民の意見を生かして進められます。国の働きには、「立法」「行政」「司法」の三つがあります。日本では、これらを国会、内閣、裁判所という別々の機関が担当し（47条）、チェックし合う仕組みです。これを「三権分立」といいます。国会議員は国民の選挙で選ばれ、全国民の代表として法律づくりなどを担います。国の政治の代表的なテーマは、国民全体に関係する外交、防衛などです。
 これに対し、地域の政治は住民の暮らしに密着した警察や消防、福祉、教育といった仕事を中心です。地方自治体（地方公共団体）の首長（都道府県知事や市区町村長）、議会の議員がどちらも住民の選挙で選ばれ、住民代表として働きます（47条）。

● 増える国・自治体の借金 将来世代の負担に
 国民・住民や企業が納める税金は、国や地方自治体の仕事に使われます。ところが税金だけでは足りないため、国は借金（国債の発行）を重ねてきました。背景の一つは、お年寄りを支える年金・介護などに必要なお金が膨らんでいることです。地域の政治でも、地方都市を中心にお金のやりくりで困っている自治体が目立ちます。国と自治体の借金合計額は増え続け、大きな問題になっています。将来の世代にツケを回しているためです。

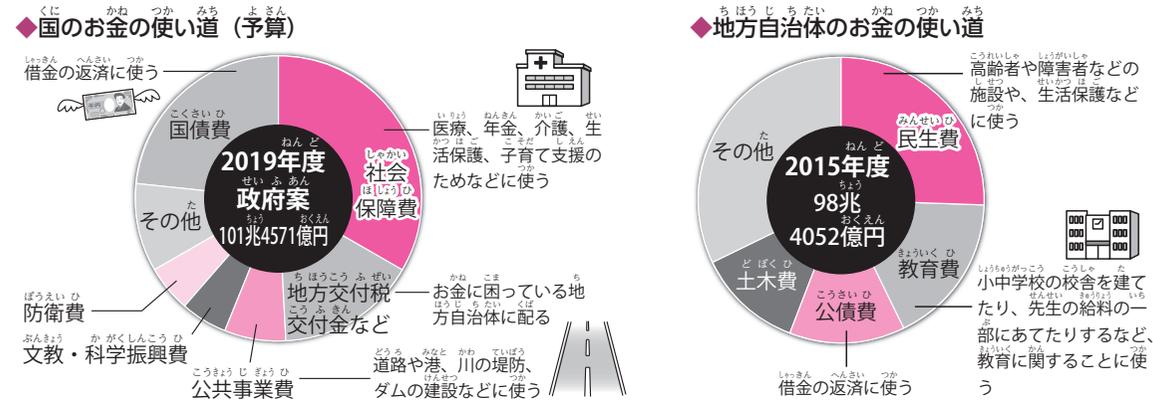
Newsなできごと ■消費税率「10%」に
 買い物にかかる消費税率は2019年10月、8%から10%に引き上げられます。主に国の税金収入を増やして、借金を減らすためです。ただし所得の低い人に配慮して、暮らしに欠かせない食料品や飲み物の一部などは税率8%に据え置かれる見込みです。

Step 2 わかるかな? | 確認テスト

- ★ 日本では、「立法」「行政」「司法」という国の働きを、国会、内閣、裁判所という別々の機関が担い、互いにチェックし合う仕組みを取っています。これを(1) といいます。
- ★ 地域の政治は、地方(2) が住民の意見を基に進めます。知事・市区町村長といった(3) と、議会の(4) が共に住民代表として働きます。
- ★ 国や地方(2) の仕事に必要なお金は、国民・住民や企業が納める(5) でまかなうのが本来のあり方です。しかしそれだけでは足りず、(6) が膨らんできました。



- ◎ 国会……法律(国のルール)を作る「国の唯一の立法機関」。内閣の案を審議して、予算(お金のやりくりの計画)も決める。
- ◎ 内閣……国会が決めた法律や予算に基づき、国の行政を取り仕切る。内閣のトップが内閣総理大臣(首相)。
- ◎ 裁判所……憲法や法律に基づき、罪を犯した疑いのある人を裁いたり、個人や会社同士のトラブルを解決したりする。くじで選ばれた国民がプロの裁判官と共に裁判の一部を担う裁判員制度もある。
- ◎ 首長(都道府県知事や市区町村長)……議会が決めた予算や条例(地方自治体のルール)に基づき、住民サービスの提供といった地域の行政を取り仕切る。
- ◎ 議会……条例を作る。首長の案を審議して、予算も決める。



- 国が集める税金の例
 所得税(個人の所得にかかる)
 法人税(会社の所得にかかる)
- 地方自治体が集める税金の例
 住民税(その地域の個人や会社にかかる)
 事業税(個人や会社の事業にかかる)

国の仕事に必要なお金は、税金だけではまかなえていない。このため、借金を重ねているんだ。お金のやりくりで困っている地方自治体も多い。
 消費税率引き上げ(8%→10%、2019年10月)は、借金を少しでも減らすのが主な目的なんだ。